

家庭系ごみ処理有料化に向けた 意見交換会

小 野 市
市民安全部 環境政策グループ

Contents

01

ごみ処理の現状

02

ごみ有料化

03

今後のスケジュール

Contents

01

ごみ処理の現状

02

ごみ有料化

03

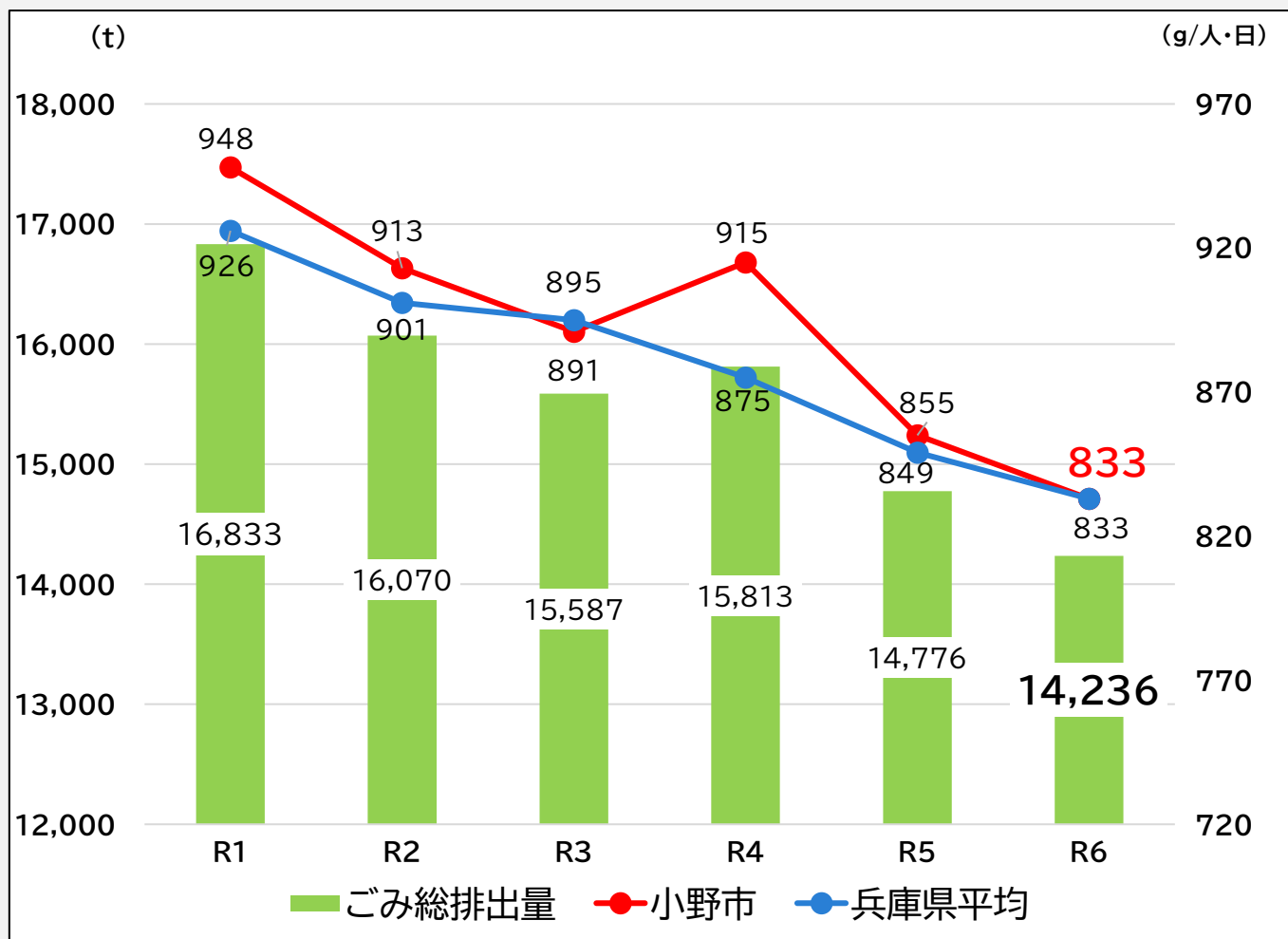
今後のスケジュール

小野市のごみ処理体制



- ④ 小野クリーンセンター
 - ◆小野市、加東市、加西市の3市共同によるごみ処理(主に可燃ごみ、粗大ごみ)
 - ◆施設の老朽化により、新ごみ処理施設を整備する
 - ◆新ごみ処理施設においても、3市による共同処理を実施
- ④ 小野市一般廃棄物最終処分場
 - ◆小野市が運営し、不燃ごみを埋立処理
 - ◆R2・R3年度で改修工事を施工済み

ごみ排出量の推移



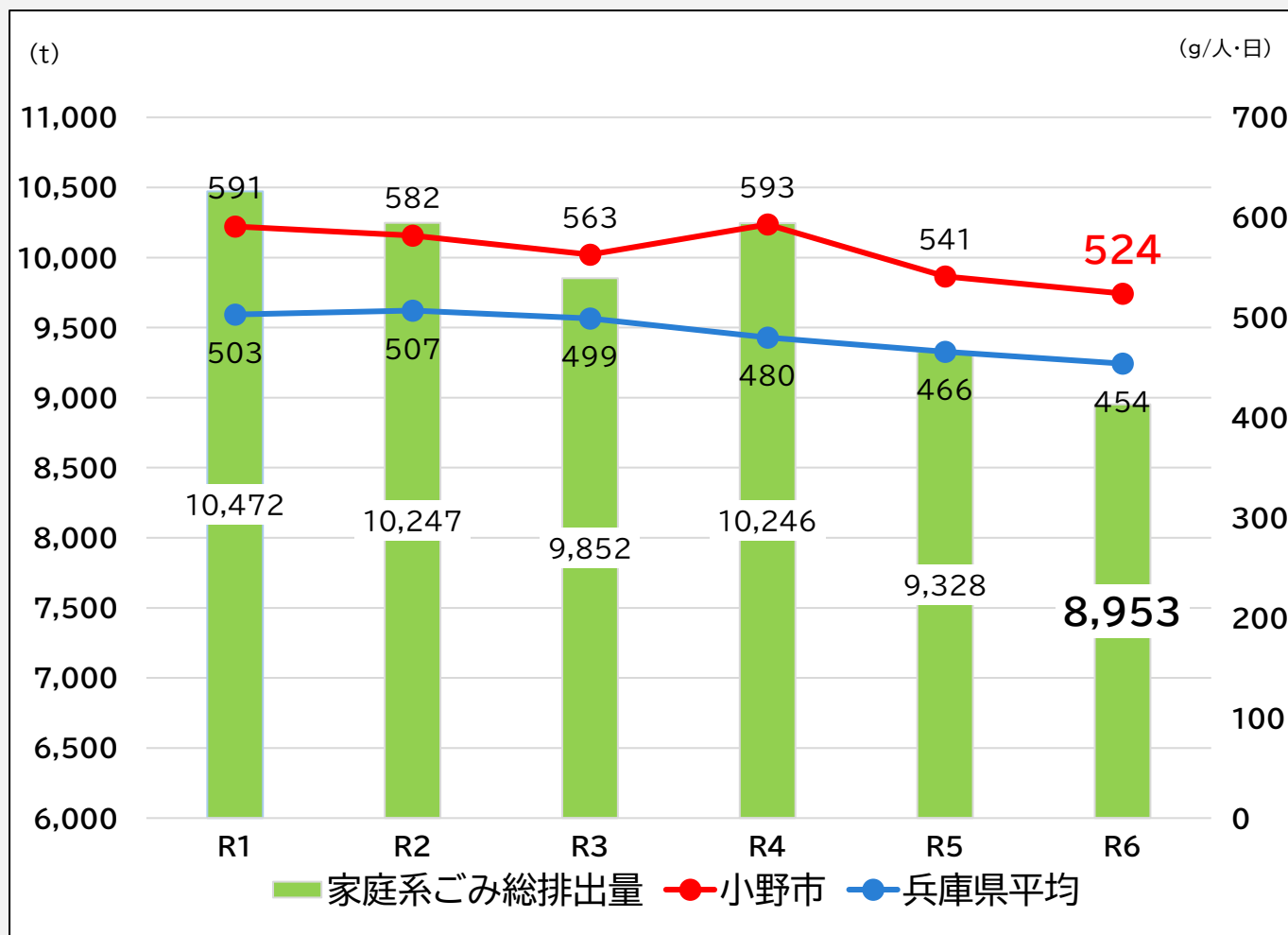
総排出量

◆増減を繰り返していたが、近年は減少傾向にある

1人1日当たり排出量

◆かつて、県平均よりも少なかったが、令和元年度を境に若干上回る状況が続いている

家庭系ごみ排出量の推移



総排出量

◆家庭から排出されるごみ(資源ごみを除く)の総量は、緩やかな減少傾向

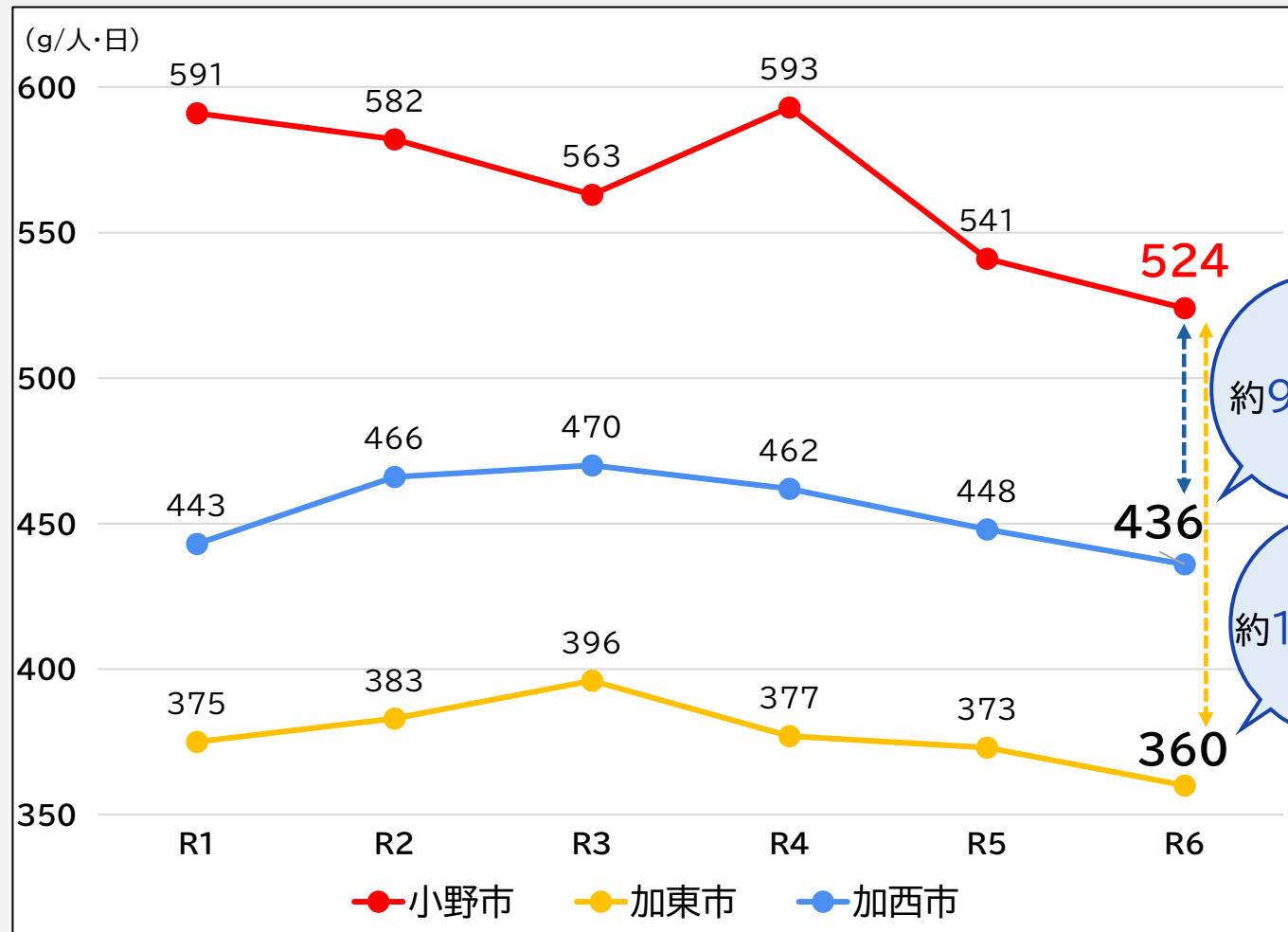
1人1日当たり排出量

◆家庭から出る1日1人あたりのごみの排出量は、県平均を大きく上回る状況

◆R4年度は、**県下ワースト1位**
R5年度は、県下ワースト6位
R6年度は、県下ワースト10位

1 ごみ処理の現状

家庭系ごみ排出量の近隣市との比較



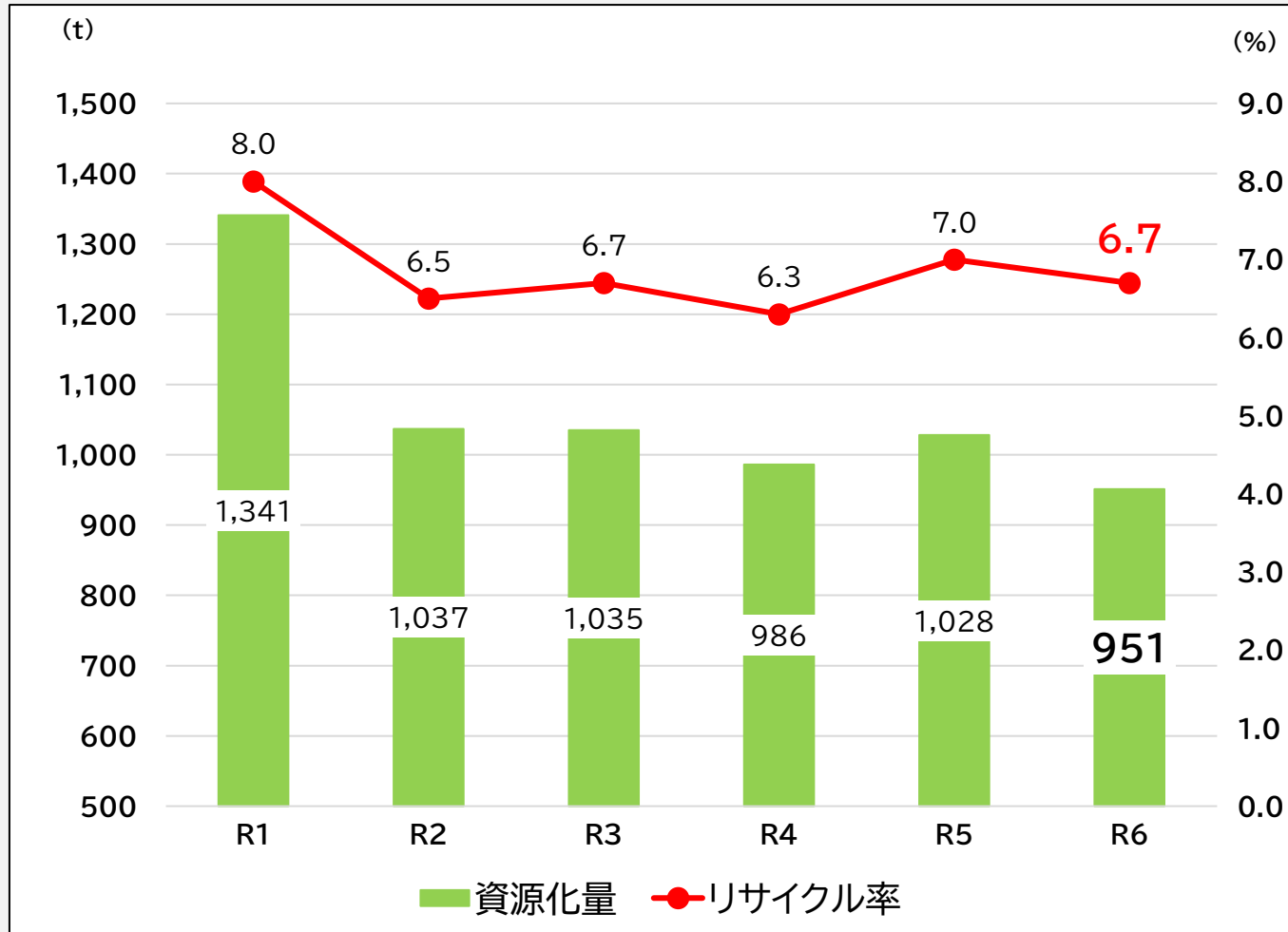
加東市・加西市:有料化実施済み

ごみの減量が進んでいる

小野市:有料化未実施

2市と比較し、大幅に排出量が多い

リサイクルの現状



資源ごみ量

- ◆生活様式の変化により減少傾向が続く
- ◆コロナの影響による各学校の集団回収の規模縮小により、資源回収量が落ち込んだまま回復しない状況

リサイクル率

- ◆リサイクル率は、
7年連続で県下ワースト

ごみ処理に係る経費

ごみ処理に係る経費は、**年間約4億4千万円**(令和6年度実績)

うち、小野クリーンセンターの負担金は、ごみ処理経費全体の**59%**を占める

小野クリーンセンター負担金算出方法

区 分		均等割	人口割	実績割
現施設	運 営 費	10%	10%	80%
新施設	運 営 費	30%	20%	50%
	施設整備費	30%	20%	50%

ごみの減量が、
負担金を低く抑える
ことに繋がる！

ごみの搬入量が負担金に大きく影響する

加東市、加西市と比較し、ごみの排出量(搬入量)が多い小野市は、負担金が高い

新ごみ処理施設の整備に向けて



新ごみ処理施設イメージ



新ごみ処理施設の概要

- ◆基本理念
「地域に親しまれ、開かれた施設」
- ◆建設予定地
浄谷黒川丘陵地内
- ◆処理能力
98t/日
- ◆附帯施設
芝生広場、温水プール(ごみ焼却時に発生する
余熱を利用)
- ◆施設稼働時期
令和17年度の供用開始予定

Contents

01

小野市のごみの現状

02

ごみ有料化

03

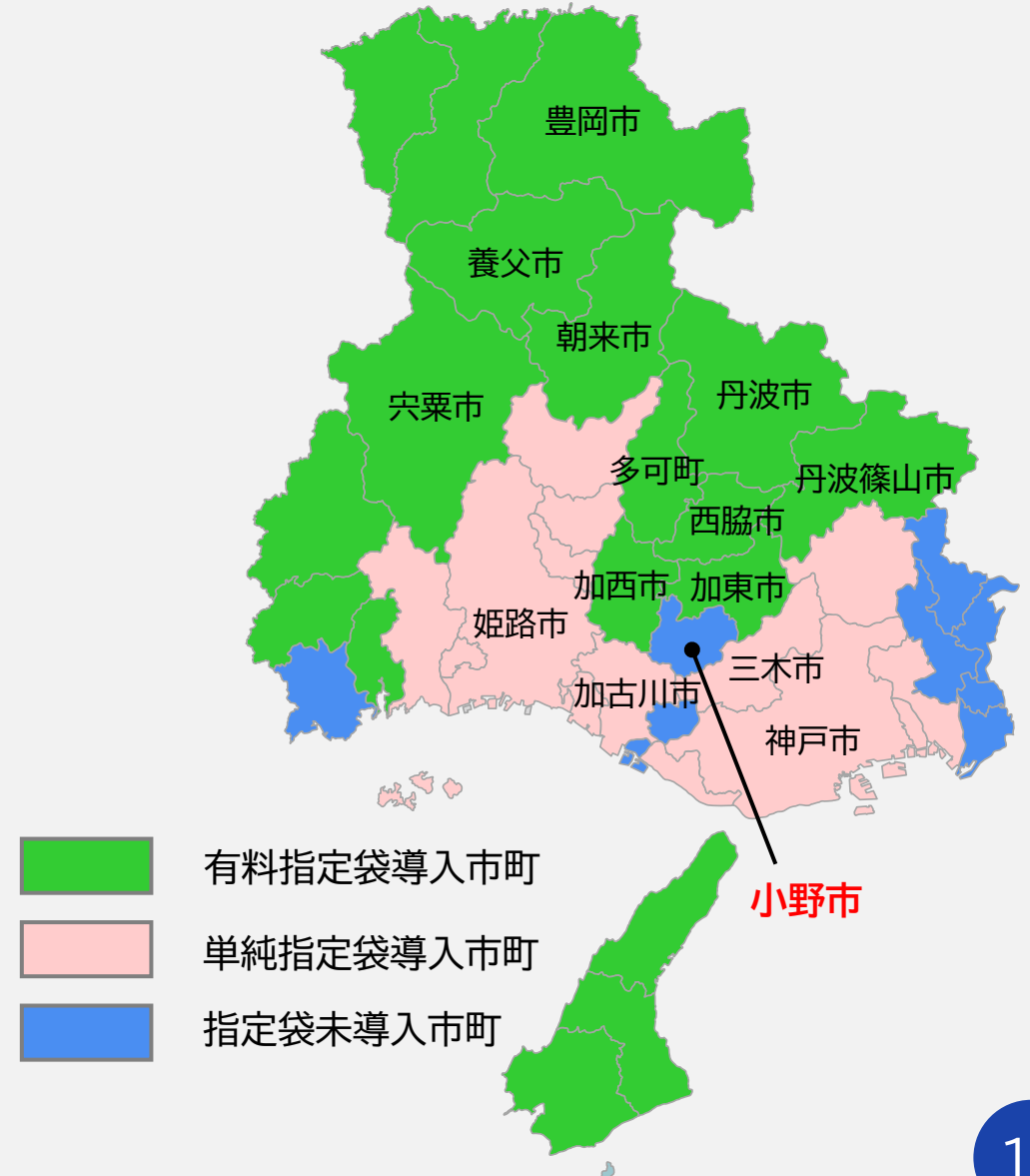
今後のスケジュール

ごみ有料化とは？

- ◆**ごみ処理手数料を上乗せした、市指定のごみ袋(有料指定袋)を利用頂く制度**
(袋代金＝ごみ処理手数料)
- ◆ごみ袋の仕様のみを指定し、ごみ処理手数料を上乗せしていない「単純指定袋」も存在する
- ◆有料指定ごみ袋制は、全国**約7割**の自治体、**県内4割以上(18市町)**で導入されている

	有料指定袋	単純指定袋
価 格	市が定める(袋代+手数料)	市場価格(袋代)
該当市町	加東市、加西市、西脇市等	三木市

【県内の指定ごみ袋導入状況】



ごみ有料化の目的



新施設整備に係る国の交付金を最大限に活用

- ▶ 有料化を実施しない場合、国の交付金が削減され、**小野市が事業費を約20億円多く負担しなければならない**



減量化・資源化の一層の推進

- ▶ 「無関心」から「関心」へ
ごみ減量により、施設の整備費・運営費の負担も軽減



負担の公平性の担保

- ▶ 排出量に応じたごみ処理経費の負担

有料指定袋の対象品目

✓ 家庭から出る「可燃ごみ」を対象

(但し、アパート等の賃貸住宅で民間の収集運搬業者がアパート等へ直接回収するものは対象外)

【現在】



透明・半透明袋

【導入後】



市指定袋

✓ その他品目(不燃ごみ・粗大ごみ等)は、従来どおり

有料指定ごみ袋の種類と価格

◆袋の種類

45L(大)、30L(中)、20L(小)の3種類

◆袋の価格(案)

袋の容量1L当たり約0.5円を予定。10枚1セットで販売

【ごみ袋の種類と価格(案)】

袋の大きさ	45L(大)	30L(中)	20L(小)
1枚当たり価格	25円	15円	10円
販売価格(10枚)	250円	150円	100円

他市との価格比較

- ◆全国では、1L＝約1円が平均 【45L(大)袋で45円】
- ◆兵庫県では、1L＝約0.9円が平均 【45L(大)袋で40円】
- ◆小野市では、**1L＝約0.5円**を予定 【45L(大)袋で25円】

▶ 市民負担の軽減を重視し、県下最低水準

【県下の一覧表】

大袋1枚価格水準	自治体名
50円～	養父市(60円)、朝来市(60円)、豊岡市(52円)、香美町(50円)、新温泉町(50円)
40～49円	相生市(46円)、丹波篠山市(45円)、淡路市(44円)、洲本市(40円)、丹波市(40円)、佐用町(40円)
30～39円	西脇市(35円)、多可町(35円) 、上郡町(35円)、南あわじ市(33円)、 加東市(30円)
～29円	宍粟市(25.3円)、 加西市(25円)

1世帯あたりの負担額(試算)

試算条件

- ◆1世帯あたり週3枚ごみ袋を使用すると想定(年間156枚÷160枚)
- ◆市販の45L透明・半透明ごみ袋の価格を1枚あたり10円と想定

試算結果【45L(大)のごみ袋を使用した場合】

$$\begin{array}{ccccc} (25\text{円/枚} & - & 10\text{円/枚}) & \times & 160\text{枚} = 2,400\text{円} \\ \text{市指定袋} & & \text{市販の袋} & & \end{array}$$

1世帯あたり、年間2,400円の負担増となる見込み

有料化の対象としないごみ

✔ 近隣市町の状況等を踏まえ、今後詳細を検討

✔ 近隣市町事例

自治体名	有料化しない(減免対象)のごみ
加東市	◆天災により発生した、り災ごみ
加西市	
西脇市	◆市町長が特別な理由があると認めたごみ 例:自治会等による清掃活動で発生したごみ
多可町	

Contents

01

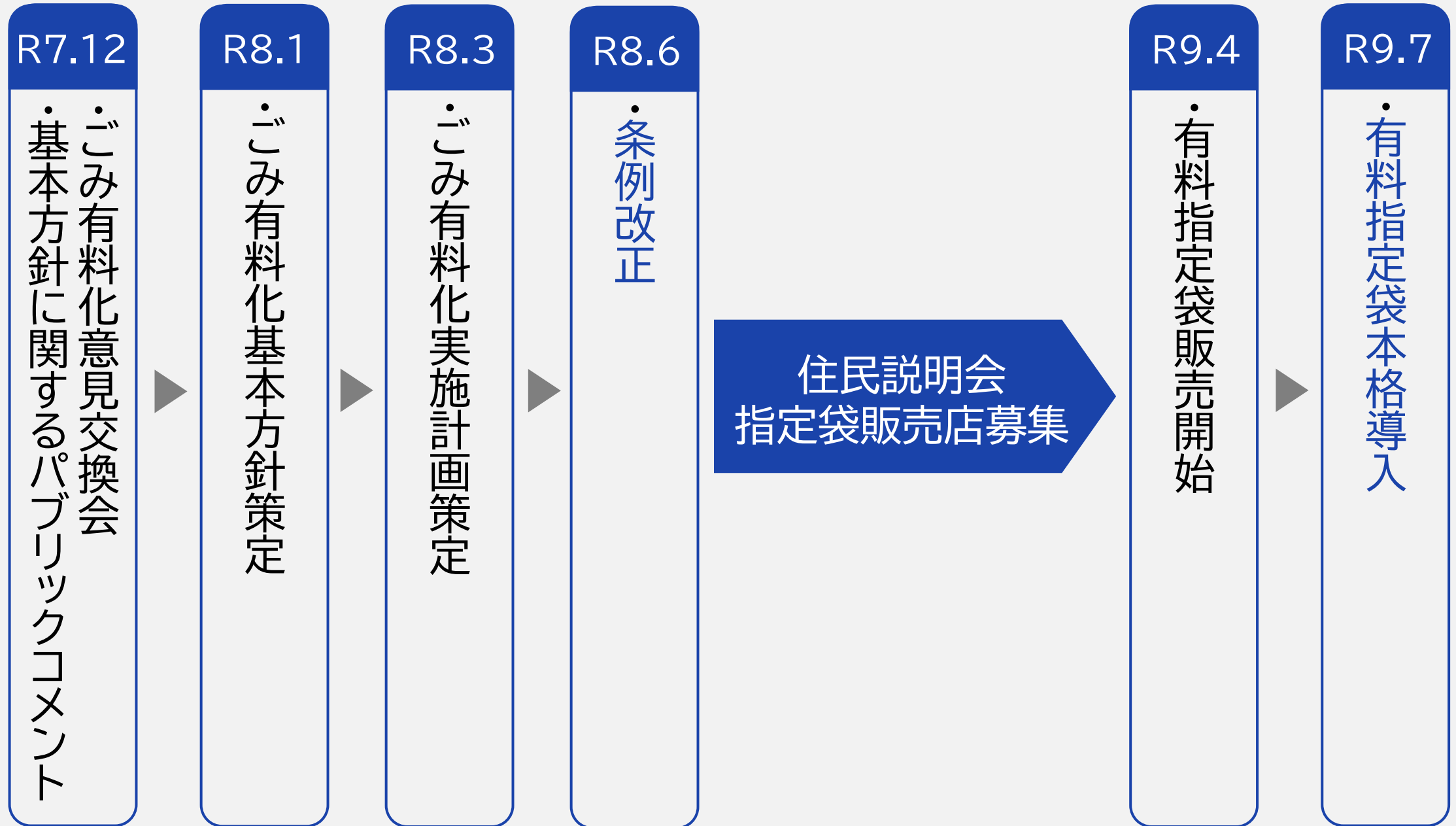
小野市のごみの現状

02

ごみ有料化

03

今後のスケジュール



ご清聴ありがとうございました

